

2018年10月18日  
(一社) 日本アルミニウム協会

## 東洋アルミ「トーヤル ロータス」が、Robert V Neher 賞を受賞！

世界の主要アルミ箔メーカー55社が加盟する Global Aluminium Foil Roller Initiative (GLAFRI) が2017年に創設し募集していたアルミ箔の学術賞「Robert V Neher 賞」の受賞者が、10月9日にドイツ・デュッセルドルフで開催された欧州の大型アルミ展示会「Aluminium2018」で発表され、当協会会員の東洋アルミニウム株式会社の「トーヤル ロータス」が、第1回目の名誉ある受賞に輝きました。

「Robert V Neher 賞」は、アルミ箔圧延工程の発明者 Robert V Neher 氏に因んで命名されました。この賞は、アルミ箔の潜在的な革新性を示し、アルミ箔の環境・経済的な価値を高め、また研究開発により、さらに良くなったアルミ箔が社会のあらゆる人の役に立つよう日々懸命に努力されている研究開発・学術関係者を支援することを目的として創設されたものです。

初回となる今回は、英国、中国、インド、日本から6件の応募があり、その中での受賞となりました。「トーヤル ロータス」は蓮の葉の構造にヒントを得た撥水性包装材料で、ヨーグルトが付着しない蓋材として、また「トーヤル・ウルトラロータス」は、クリームが付着し難いケーキサイドカバーフィルムなどに採用され高い評価を得ています。審査員は、「蓮の葉の撥水の仕組みを、蓋材を改善するために採用したのは、新しく興味深い手法で、これにより包装材料に食品が付着することなく、アルミ箔を捨てることができるため、環境的にも経済的にも貢献できる可能性を感じさせてくれる。」と高く評価しました。

表彰式には、東洋アルミ(株)から西川浩之氏と橋詰良樹氏が出席され、賞金1万ユーロ(約130万円)の小切手が授与されました。

なお、賞の審査は、欧州、米国、ブラジル、中国、日本のアルミニウムに深い知見を持つ学術関係者5名の協力により行われましたが、日本からは里達雄氏(東京工業大学名誉教授、当協会顧問)に審査にご協力いただきました。

## 【授賞式の写真】



左から、Göksal Güngör 氏（GLAFRI 会長/Assan アルミ（トルコ））、  
西川浩之氏（東洋アルミ）、橋詰良樹氏（東洋アルミ）、  
Prof. Dr.-Ing. Jürgen Hirsch 氏（審査員/Hydro(ノルウェー)）

## 【参考】

東洋アルミ(株) プレスリリース

<http://www.toyal.co.jp/whatsnews/181017.html>

## GLAFRI サイト

・プレスリリース

<https://www.global-alufoil.org/en/media/media-releases.html>

・Robert V Neher Award について

<https://www.global-alufoil.org/en/awards-and-events/neher-award.html>